

事 項	シクラメンの葉組み作業の省力化		
ね ら い	シクラメンの栽培において「葉組み」は葉、花芽の発達を促すために、株もとに光があたるように葉をねじ曲げる作業で、形を整えるうえからも重要であるが、多くの労力を要する。そこで、葉組器を使用することにより、作業が省力化されることが明らかになったので、参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>「葉組器」は鉢の上にかぶせるだけの作業で、「葉組み」を実施することができ、作業労力を軽減できる器具である。</p> <p>1 使用方法</p> <p>〈その1〉葉組みを行う時期（9月頃）になったら、葉組器を10日間程度設置し、その後、1度はずし、また、すぐ設置し直す作業を繰り返す。</p> <p>〈その2〉葉組みを行う時期（9月頃）になったら、葉組み器を10日間程度設置し、その後10日間程度はずし、また、10日間程度設置する作業を繰り返す。</p> <p>出荷の1か月前くらいまでこの作業を繰り返す。</p> <p>2 葉組器による省力程度</p> <p>葉組み作業に要する時間は葉組器を使用すると、手作業の22～33%程度であった。</p> <p>3 品 質</p> <p>手作業と同等であった。</p>		
期待される効果	葉組み作業の省力化		
利用上の注意事項	5号鉢用であるが、4号鉢にも利用できる。また、6号鉢に使用する場合は、逆さにして（幅の狭い方を下）使う。 葉組器は長期間鉢の上に置きっぱなしにすると、葉が葉組器にからんでしまうので、使用方法を守る。		
担 当	フラワーセンター21あおもり 普及技術部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	平成10、11年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 1鉢当たりの葉組み作業所用時間
(平成11年 フラワーセあおもり)

	所要時間
葉組器使用〈その1〉	10秒
葉組器使用〈その2〉	15秒
慣行（葉組作業）	45秒

調査月日：10月20日

表2 品質調査 (平成11年 フラワーセあおもり)

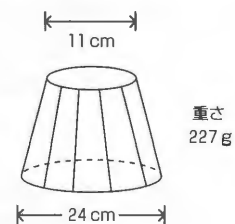
項目 月日	葉組器使用〈その1〉				葉組器使用〈その2〉				慣行（葉組作業）			
	葉数 (枚/鉢)	花蕾数 (個/鉢)	株張り (cm/鉢)	花高 (cm/鉢)	葉数 (枚/鉢)	花蕾数 (個/鉢)	株張り (cm/鉢)	花高 (cm/鉢)	葉数 (枚/鉢)	花蕾数 (個/鉢)	株張り (cm/鉢)	花高 (cm/鉢)
10/20	①63.6	11.1	32.2	-	64.8	11.7	32.0	-	65.9	13.6	32.4	-
11/22	75.8	30.9	34.5	-	76.8	31.5	35.2	-	77.2	29.9	34.9	-
12/9	②79.7	41.9	36.4	28.5	79.7	43.3	35.5	28.0	79.9	42.4	35.3	28.3
②/①	1.3	3.8	1.1		1.2	3.7	1.1		1.2	3.1	1.1	

注1) 株張り：株の直径で最も広い幅
2) 花高：地際から持つとも長い花弁先までの高さ



写真1 葉組器の設置状況

※参考 葉組器に要する経費
葉組器（1個）150円



耕種概要

- (1) 栽培環境：ガラス温室
- (2) 栽培方法：鉢上げ 11年3月10日（購入苗 7.5cmポット）
11年6月9日（10.5cmポット）
仕上げ 11年8月4日（5号プラ鉢）
- (3) 処理法：葉組器使用〈その1〉 9月20日、9月30日、10月12日、10月20日、10月29日、11月10日の6回作業を実施
葉組器使用〈その2〉 9月20～9月30日、10月12日～10月20日、10月29日～11月10日に葉組器設置
慣行（葉組作業） 9月20日、9月30日、10月12日、10月20日、10月29日、11月10日の6回作業を実施